

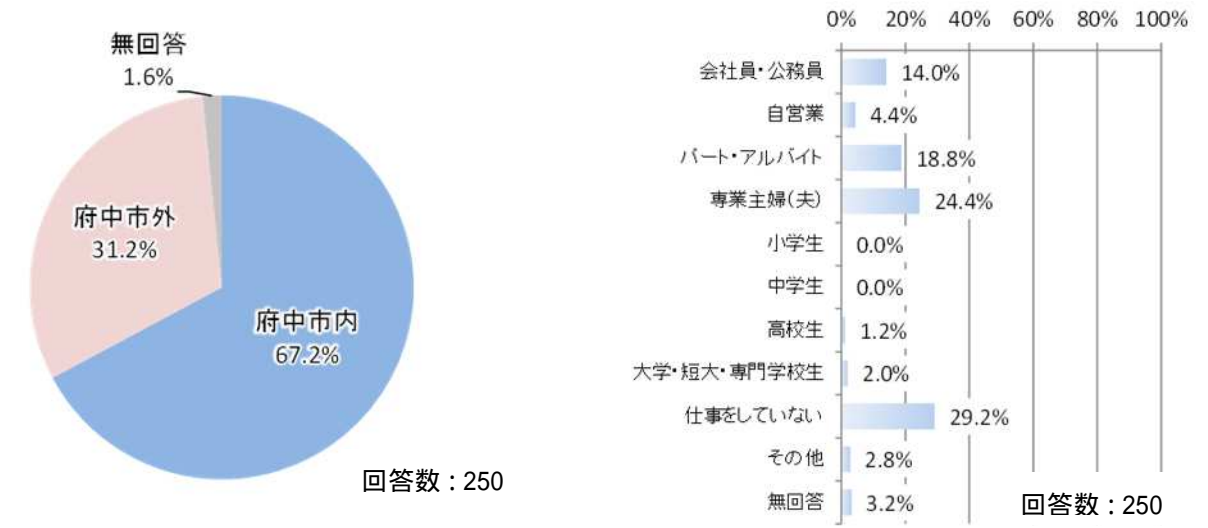
「路線バス利用者アンケート」の調査結果

1. 調査の概要

府中市内における路線バスの利用状況や利用実態（区間・時間帯・頻度・目的・支払方法等）利用者からの評価・問題点・改善要望などを把握するため、市内の主要なバス乗り場において、路線バス利用者を対象としたアンケート調査を実施した。

項目	概要
調査対象	路線バス利用者
調査時期	令和3年7月16日（金）10時～16時
調査方法	府中駅（乗場1～4）・多摩総合医療センター・多磨駅のバス乗り場で、バス待ちの利用者に調査票を配布し、郵送にて回収を行った。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> 回答者の属性 調査日の路線バス利用状況 調査日に利用した路線バスに対する満足度 路線バス以外の交通手段
配布・回収	<ul style="list-style-type: none"> 配布数：584枚 回収数：250票 有効回収率：42.8%

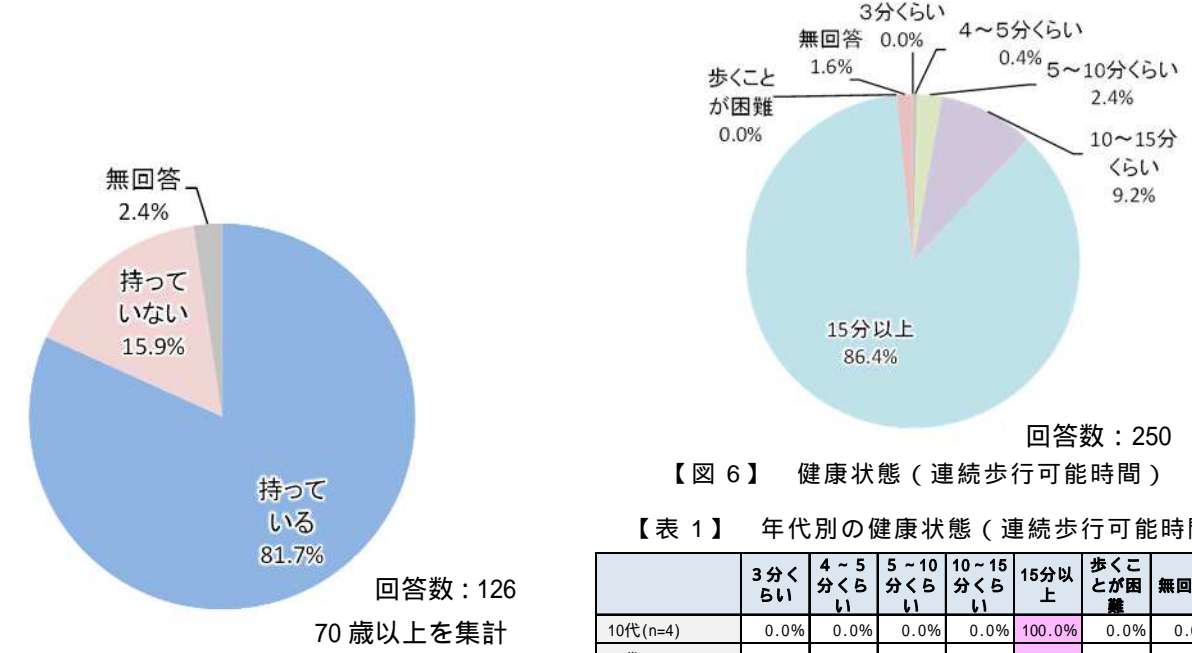
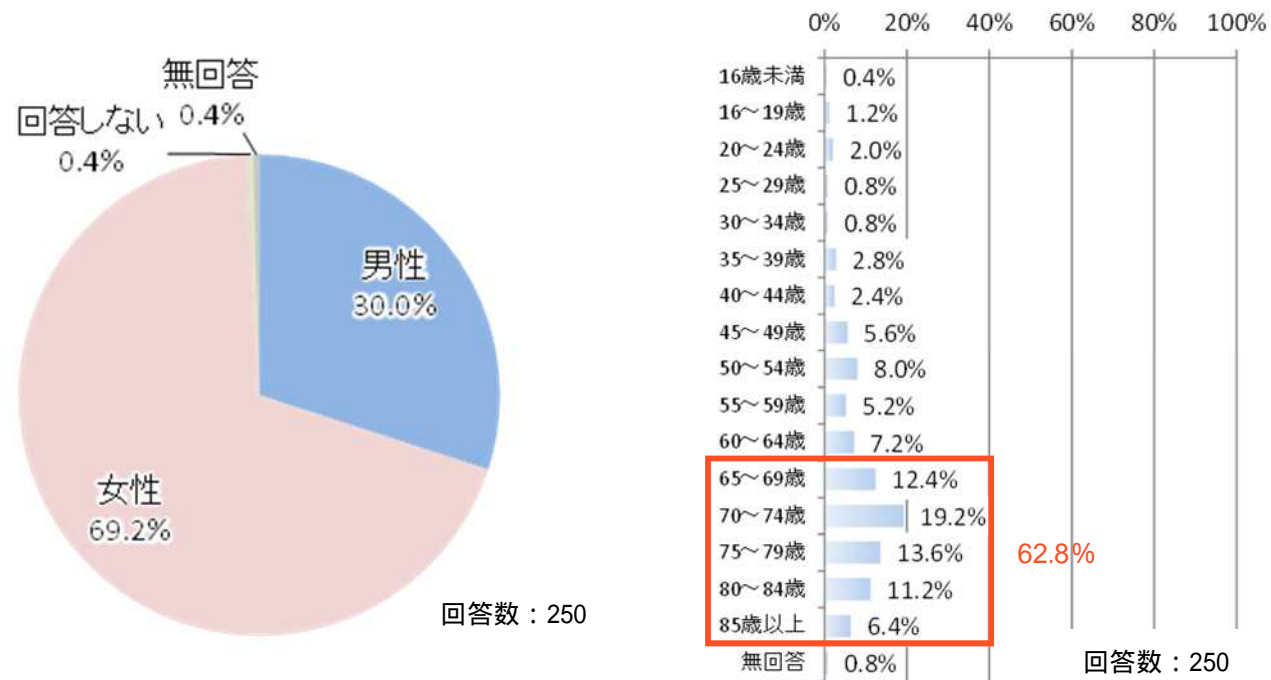
○居住地は、「府中市内」が7割弱を占め、内訳を見ると新町（19人）、紅葉丘（14人）、武蔵台（13人）が多い。隣接市では「国分寺市（14人）」からの利用も見られた。
 ○就業・就学状況は、「仕事をしていない」が29.2%（73人）と最も高く、次いで「専業主婦（夫）」が24.4%（61人）、「パート・アルバイト」が18.8%（47人）、「会社員・公務員」が14.0%（35人）と続いている。



2. 回答者の属性について

利用者の性別は、「女性」が69.2%（173人）、「男性」が30.0%（75人）である。
 利用者の年齢は、65歳以上が多く、約6割を占めており、中でも70代が多い。

○70歳以上の回答者の約8割がシルバーバスを持っている。
 ○健康状態（連続歩行可能時間）は、「15分以上」が86.4%（216人）と最も多い。
 ただし、年代別にみると、70歳以上は、15分以上歩行できる割合が減少している。



【表1】年代別の健康状態（連続歩行可能時間）

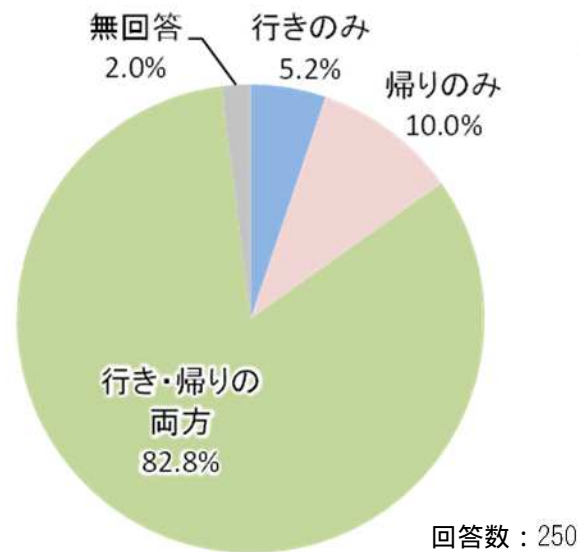
	3分くらい	4～5分くらい	5～10分くらい	10～15分くらい	15分以上	歩くことが困難	無回答	合計
10代(n=4)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
20代(n=7)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
30代(n=9)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
40代(n=20)	0.0%	0.0%	5.0%	5.0%	90.0%	0.0%	0.0%	100.0
50代(n=33)	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	97.0%	0.0%	0.0%	100.0
60代(n=49)	0.0%	2.0%	2.0%	4.1%	91.8%	0.0%	0.0%	100.0
70代(n=82)	0.0%	0.0%	2.4%	11.0%	82.9%	0.0%	3.7%	100.0
80歳以上(n=44)	0.0%	0.0%	4.5%	18.2%	75.0%	0.0%	2.3%	100.0
全体	0.0%	0.4%	2.4%	9.2%	86.4%	0.0%	1.6%	100.0

n=回答数

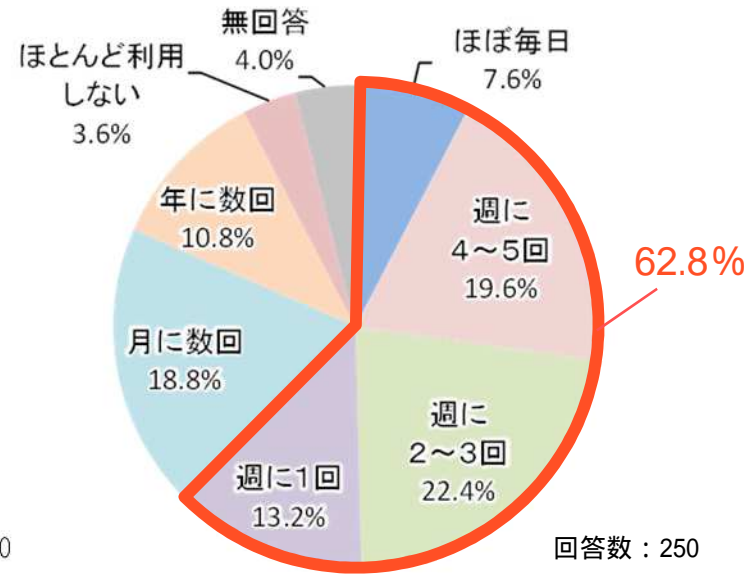
3. 調査日（7月16日）の路線バス利用状況について

「行き・帰りの両方」での利用が約8割を占めている。
 利用頻度は、週に1回以上の利用が約6割である。
 他の公共交通との乗継状況は、「乗り継いでいない」が約5割、次いで「鉄道（京王線）」が約3割となっている。
 路線バスの利用目的は、「買い物」が31.2%（78人）と最も高く、次いで「通院・お見舞い」が25.6%（64人）、「通勤」が16.6%（42人）と続いている。多摩総合医療センター利用者は「通院」目的が最も多く、一部「通勤」利用が見られる。

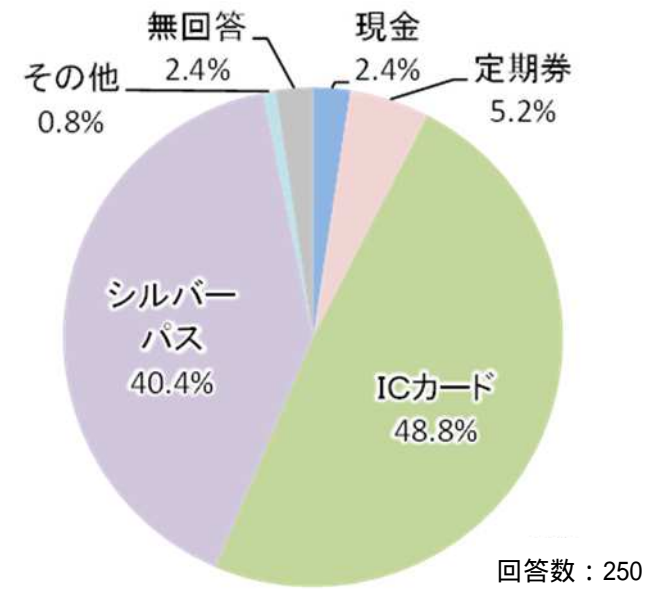
運賃の支払い方法では、「ICカード」が48.8%（122人）と最も高く、次いで「シルバーパス」が40.4%（101人）と続いている。
 70歳以上の利用者の約8割がシルバーパスを利用している。



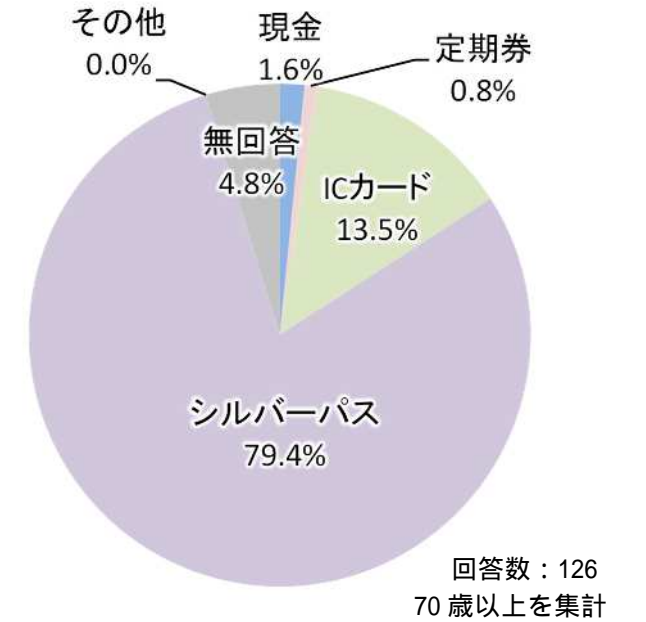
【図7】 往復利用の状況



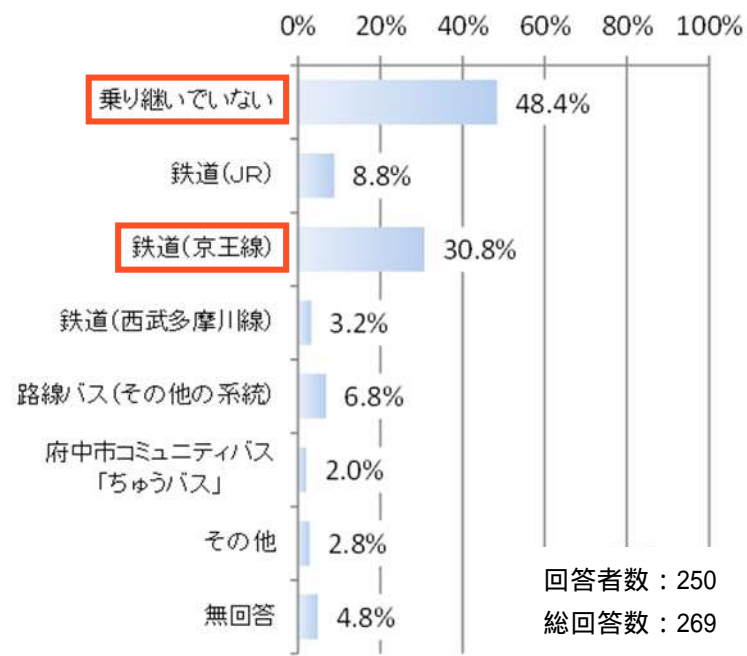
【図8】 利用頻度



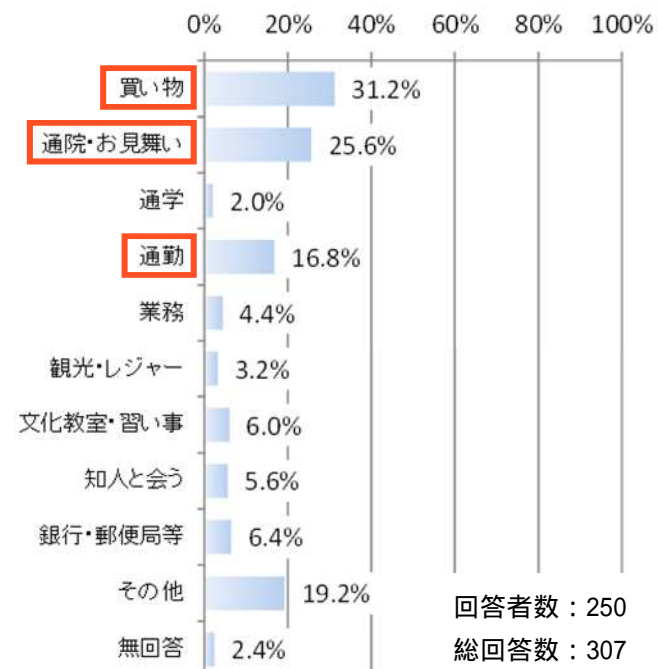
【図11】 運賃の支払い方法



【図12】 運賃の支払い方法（70歳以上）

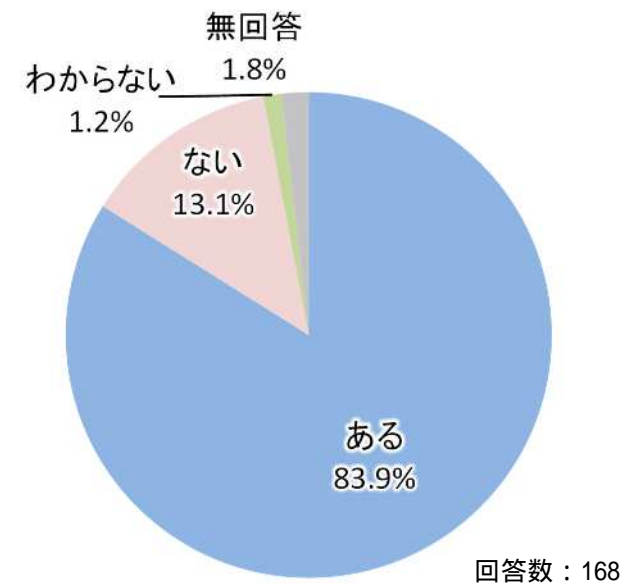


【図9】 バス以外の公共交通の利用（複数回答）

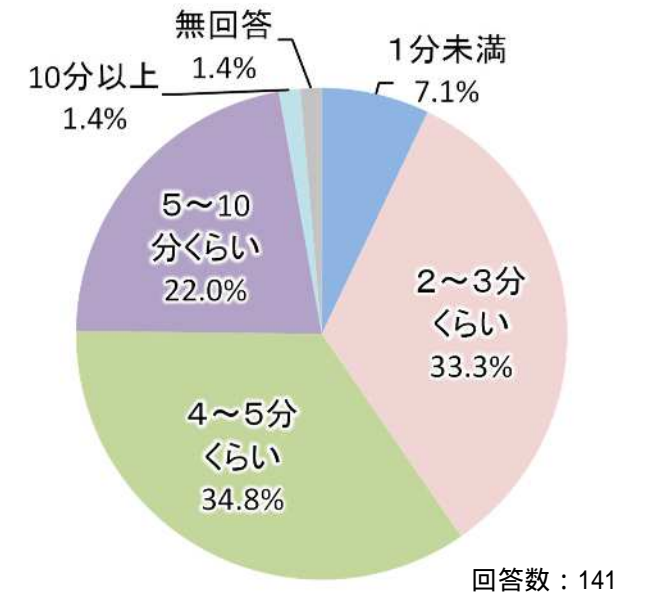


【図10】 利用目的（複数回答）

自宅近くに路線バスのバス停がある利用者は、約8割である。
 自宅近くに路線バスのバス停までの距離では、5分以下が約75%、10分以下が約97%である。



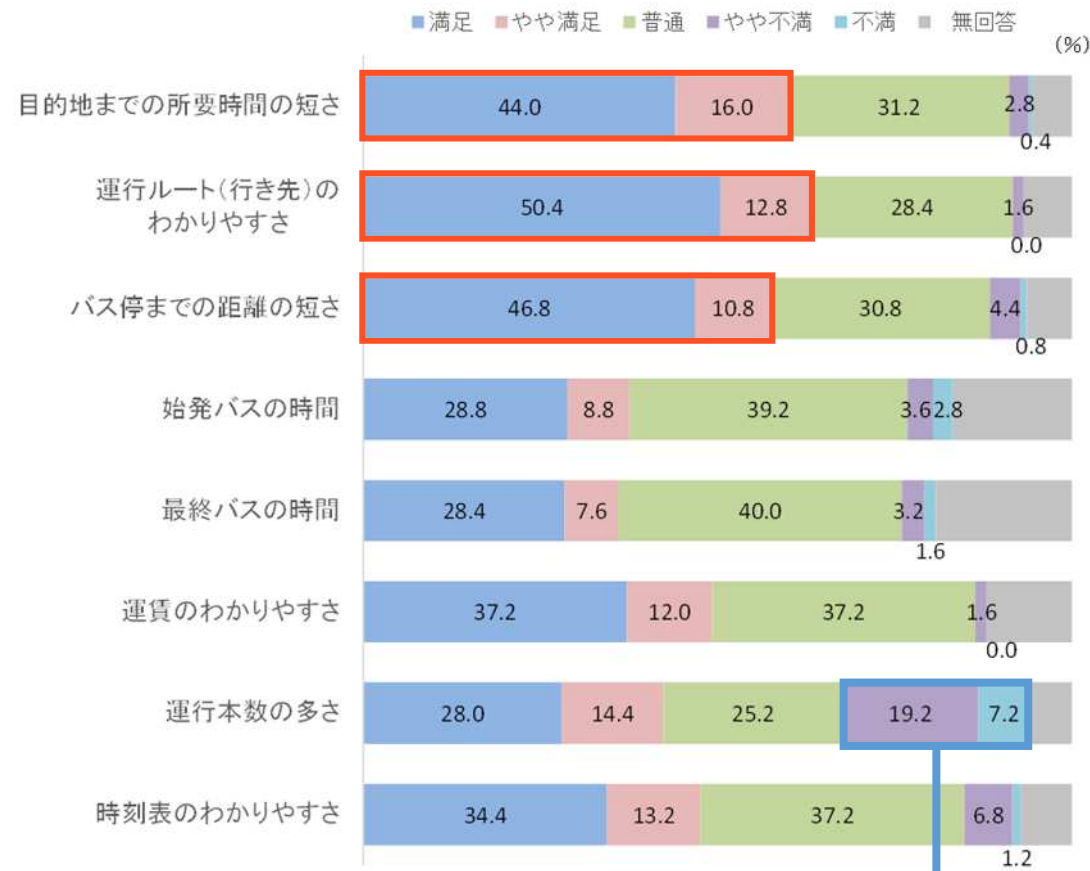
【図13】 自宅近くの路線バスバス停の有無



【図14】 自宅近くの路線バスバス停までの距離

4. 調査日（7月16日）に利用した路線バスに対する満足度について

満足度が高い項目は、「運行ルート（行き先）のわかりやすさ（63.2%）」、「目的地までの所要時間の短さ（60.0%）」、「バス停までの距離の短さ（57.6%）」である。
満足度が低い項目は、「運行本数の多さ（26.4%）」であり、その他の項目については、不満・やや不満が1割未満であった。



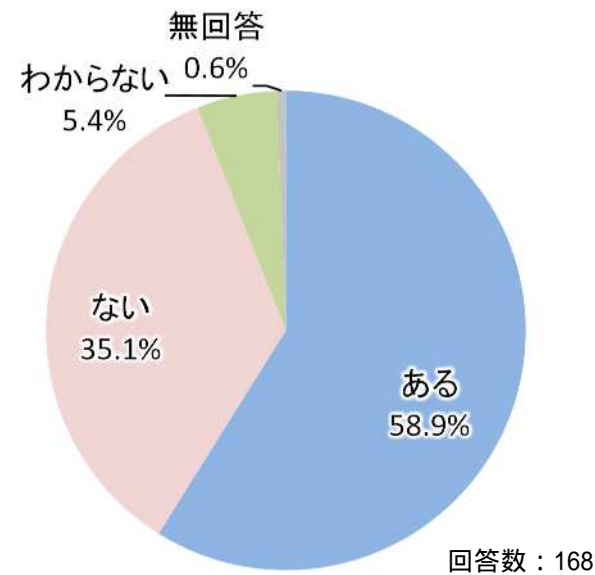
【図 15】 路線バスサービスに対する満足度

【表 2】 運行本数の多さに「不満」「やや不満」と回答した利用者の利用区間

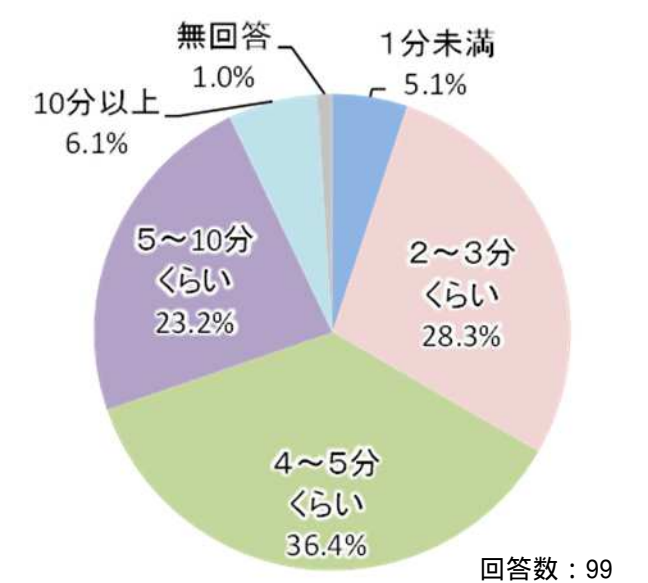
利用区間			利用者数	割合
始点	終点	系統		
府中駅	国立駅	国01, 国02 等	12	18.2%
府中駅・西府駅	西国分寺駅	西府01, 西国45 等	7	10.6%
府中駅	国分寺駅南口	寺85, 寺91 等	6	9.1%
多磨駅	三鷹駅	鷹52	6	9.1%
総合医療センター	府中駅など	国03, 寺85, 西府01等	5	7.6%
府中駅	武蔵小金井駅南口	武71	4	6.1%
多磨駅	調布駅	調33	3	4.5%
多磨駅	飛田給駅北口	調布33, 飛02 等	1	1.5%
国立駅	総合医療センター	国01, 国02 等	1	1.5%
国分寺駅南口	総合医療センター	寺83, 寺85 等	1	1.5%
西府駅	総合医療センター	西府01	1	1.5%
無回答・不明			19	28.8%
合計			66	100.0%

5. 路線バス以外の交通手段について

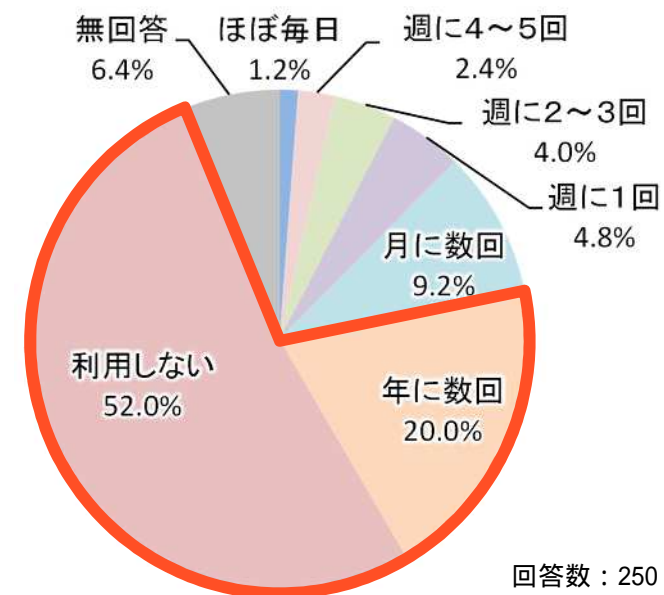
自宅近くに「ちゅうバス」バス停がある利用者が約6割である。
自宅近くの「ちゅうバス」バス停までの距離は、5分以下が約7割、10分以下が約9割である。
「ちゅうバス」の利用状況では、「利用しない」が52.0%（130人）と最も高く、次いで「年に数回」が20.0%（50人）と続いており、約7割がほとんど利用していない状況である。



【図 16】 「ちゅうバス」のバス停の有無

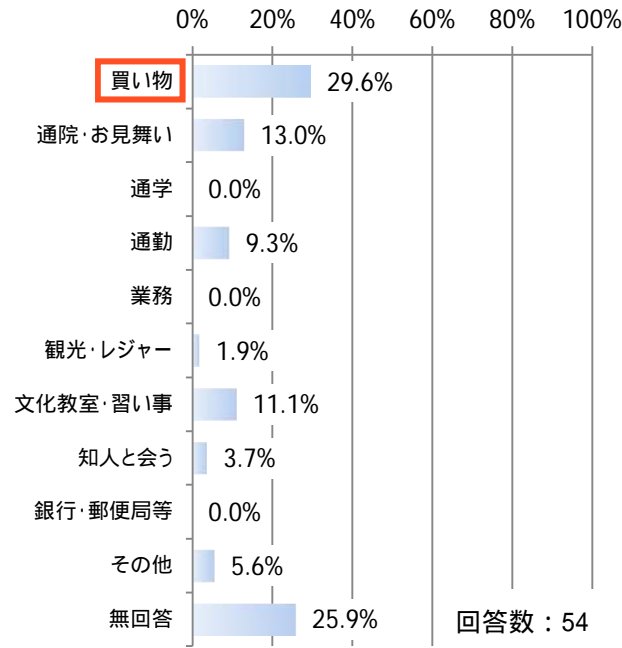


【図 17】 「ちゅうバス」のバス停までの距離

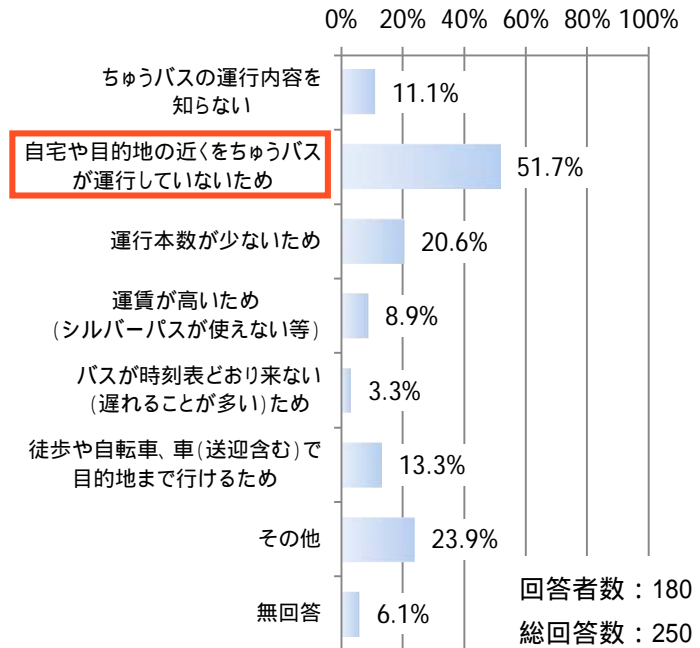


【図 18】 「ちゅうバス」の利用状況

「ちゅうバス」の利用目的では、買い物（29.6%）、通院・お見舞い（13.0%）、文化教室・習い事（11.1%）、通勤（9.3%）が多い。
 「ちゅうバス」を利用しない理由では、「自宅や目的地の近くをちゅうバスが運行していないため」が51.7%（93人）と最も高く、次いで「運行本数が少ないため」が20.6%（37人）と続いている。

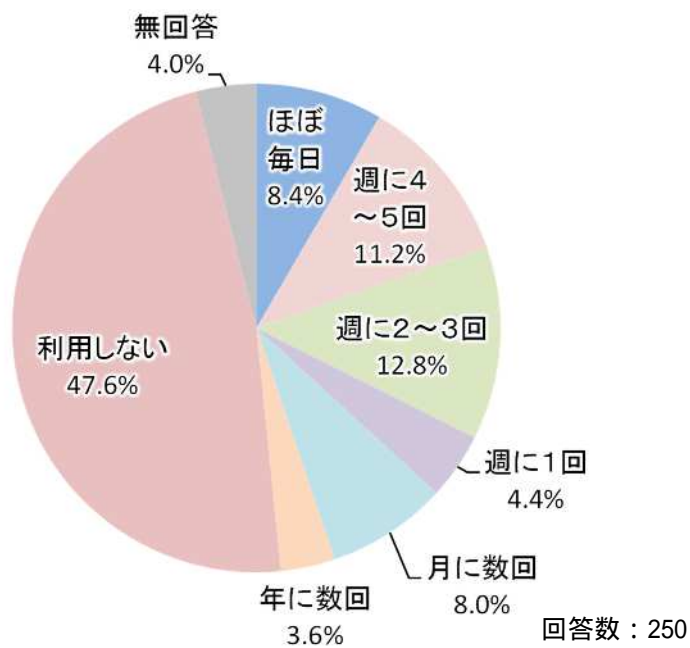


【図 19】 「ちゅうバス」の利用目的

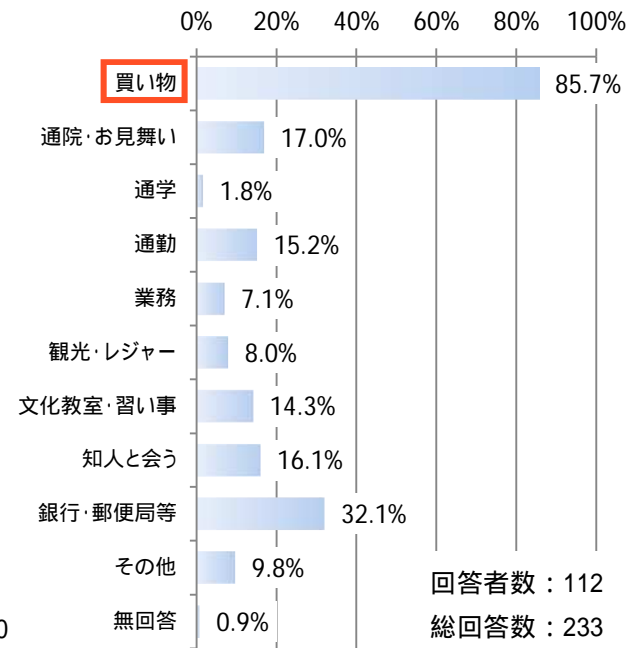


【図 20】 「ちゅうバス」を利用しない理由

自転車の利用頻度では、「利用しない」が約 5 割である。
 自転車の利用目的は、「買い物」が約 8 割を占めている。



【図 21】 自転車の利用頻度



【図 22】 自転車の利用目的